

A案：腐るお金「eumo」

市内商店街の活性化を最優先に考える場合の選択肢。前払式支払手段で、ユーザーはQRコードをスキャンしてアプリ内で決済を行う。

01

システムの基本機能

QRコード決済とユーザー間送金機能を搭載し、円からeumoへのチャージがスムーズに行える（PayPayと感覚的に近い）

02

全国での導入実績

「Hello, againコイン」（埼玉県飯能市）、「NISEKO eumo」（北海道ニセコ町）、「いいづなpay」（長野県飯綱町）、「AWA BLUE PAY」（徳島県吉野川流域）など、多数の自治体で実装済み。

03

腐るお金のメカニズム

チャージした通貨は3か月で失効するため、貯蓄が不可能となり、必然的に地域経済循環が促進される。

04

失効後の再分配システム

期限切れ通貨はコミュニティが決定した方法で再配布され、NISEKO eumoでは子供の未来への投資として活用されている。

- ⑦ 最も重要な特徴として、eumoは円への換金が可能（換金手数料5.5%）であるため、市内商店や事業者の理解と協力を得やすいか。